

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：潘 意涵（ハン イカン）

職業：学生

所属：広島大学院教育学研究科

専門分野：教育学習科学専攻・社会認識教育学・人文地理

日本語レベル：一級（講義ができる）

英語レベル：TOEIC（650点ぐらい、簡単な会話の程度）

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

中国河北省・秦皇島市の出身です。故郷としての秦皇島は秦の時代に君主を務めた秦の始皇帝という称号に由来します。当地で生まれ育ち子供の頃から大学までずっと故郷で暮らしていました。大学時代に日本文学を専攻し東野圭吾氏の推理小説をはじめ本格派推理の文学作品を研究しました。大学時代に、日本人留学生の中国語家庭教師を務めました。また、インターンシップとして日系企業で通訳をした経験があります。日本語スピーチ大会、演劇大会及びディベート大会で受賞したことがあります。北海道出身の日本語会話の先生による影響で日本へ留学することを決めました。教育学関係に強い広島大学に入学しました。お世話になっている住み心地の良い西条町に強烈な愛情を持っています。親切で純朴な社会の雰囲気には惹かれています。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

中国の歴史、風習・風俗及び伝統的な文化において飲食（中華、菓子）、服装（漢服、チャイナドレス等）、建築様式（紫禁城などの宮殿、四合院）、音楽（楽器、戯曲等）、遊戯（空中ゴマ、蹴鞠等）、祭日（春節、端午等）といった衣食住芸の面々にわたって写真を用いて見せたり、クイズを出したり体験活動を行ったりすることを通して深く紹介しようと思います。そのうえ、日中文化のそれぞれの特徴及び類似点、相違点、互いに与え合った影響などを比較文化学の観点から捉えて分析する取り組みを考えています。

また、中国を例に挙げ、世界各国における貧困問題をなくす、ジェンダー平等の実現、子供に質の高い教育を受けさせる方法といったSDGsの課題をめぐって他の国々の国民の声に耳を傾け、意見交換しながら共に検討する計画です。「どのような世界を作りたい」「自分には何ができる」「地球で暮らしている人間として他人と力を合わせて何かの努力をするか」と注意喚起し、学生・生徒を人類共同体としての思考へ導くように努めていくつもりです。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

性格が明るくて、新しいものへの挑戦が好きで冒険精神にあふれた幅広い趣味を持っている私です。インドアとアウトドアを兼ね合わせバランスよく余暇生活を過ごしています。卓球、テニス、バドミントン、バレーボールなどのスポーツをするのが好きです。他に、サッカーボール、バスケットボールの試合観戦にもすごく興味があります。大学時代にバレーボール部に所属し、セッターとして楽しんでやりました。一方、アニメーションや映画、ドラマを見るのも好きです。アニメーションや映画に取り上げられた出来事や描かれた舞台、反映された歴史背景などに関する研究文献を探して現実社会と結び付けて探っていくのが趣味です。例えば、大奥の時代劇を見れば、歴史上大奥の成り立ちや江戸時代の貴族・庶民文化を探ったり、BL型のアニメーションの作品を見据えてLGBTの課題に目を向けたりします。また、定期的に聖地巡礼をメインにフィールドワークも実施しています。物好きな一面もあるために、オカルト的な心霊現象への探求、心霊スポットへの訪問にウキウキするタイプです。他は地域のサークルに通いながら、手話勉強を独学でやり続けています。異なる文化背景及び障害者の方々とも交流することが楽しみです。いろんな伝統的文化の中、紫禁城をはじめとする濃厚な中国風の色彩を帯びた宮殿の建築様式の魅力さと奥深さに夢中になっています。日本の障子、襖、畳、縁側、庭付きの建築様式と比べてどのように影響しあうか、古くから今日にかけての変遷及び美意識の変化を分析することに醍醐味があると思います。以上一度きりの人生を悔いの残らないように一步一步歩いて喜怒哀楽に満ちた日々を楽しんでいます。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。